

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

国

職業紹介・職業相談の実施等



① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和7年9月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 就職率 41.3% (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%	利用者数 923名 支援対象者数 91名 就職者数 127名 就職率 19.8% (参考)前年同月実績 ・利用者数 652名 ・支援対象者数 74名 ・就職者数 108名 ・就職率 14.9%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：50代 ・希望職種：軽作業 工場作業

① **求職者の課題** ・平成21年より生活保護受給。25年以上就労なし。中学卒、資格なし。認知症要介護3の母親と兄と3人で生活。本人と兄は健康面に問題はないが生活保護受給開始以降一度も就労はない。最近母親の認知が進んでいるが福祉サービス利用を望まない。

② **紹介の経過** ・兄と同時に就労支援を開始。認知症の母親をひとりにできないため、兄と働き方の調整が必要。業務について具体的な希望がなく、25年以上のブランクと就労経験の少なさから就労に対するイメージが固定してる。求人の業務内容について随時説明が必要であった。兄と本人どちらか先に就職し相手に合わせた働き方を勧め求人を提供したが、兄が主で働くことを強く望み、兄の就職が決まるまでは求人が選択できない状態が長く続いた。兄弟の働き方を模索、平日は兄が、本人は土曜のみの就労と決めたが求人は極めて少なく、時間や通勤手段の条件もあり求人選択に苦慮。条件が合う求人も「清掃」という職種は受け入れられたが応募に踏み切るまでにかなり悩み時間を要した。まずは働き出すことを粘り強く説き紹介に至った。

③ **結果** 紹介就職 パート 宿泊施設清掃

④ **職業相談員の所感** ・身だしなみはできており、言葉使いも丁寧、ナビの質問にも的確に答え、時折日常の出来事を話す等コミュニケーションも取れ、終始穏やかな印象であった。就労支援参加前の就職活動は兄とHW求人検索システム利用が主となり窓口相談は行っていない。就職活動表は怠らず提出し、ケースワーカーから就職を促されることはなかった。就労支援参加となったが、認知症の母親から目が離せない状態を理由に就労には消極的。母親のデイサービス等福祉サービス利用にも消極的。同じく就労支援参加となった兄と働き方の調整が必要であったが、兄に主導権があり自身で応募先を決定することができなかった。少ない求人の中から応募先を検討し選定する姿勢は見られた。30代後半から生活保護受給、早めに積極的な就職活動を行えば兄弟で就労の機会を得られ、生活保護脱却の可能性があったとも考えられる。

⑤ **本人のコメント**

・週1日の仕事で通勤のバスも便利、頑張れそうだ。